



「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVET THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

# 世界に広がる笑顔！

クリスマスの前に 世界各地でチャリティーイベント  
【2019年12月17日】

クリスマスの前にヨーロッパや南米では、サンタクロースの格好をした人たちが、街なかを走ったり海でサーフィンをしたりして、病気と闘う子どもや貧しい家庭の子どものために寄付を呼びかける活動が行われました。

フランスのパリ郊外では15日、サンタクロースの格好をした4000人近い市民が街なかを走るチャリティーイベントが行われました。

イベントの参加者から合わせて1万1000ユーロ、日本円にして130万円余りの寄付が集まり、がんと闘う子どもたちを支援する団体に届けられるということです。

また、ギリシャのアテネでは、サンタクロースの服を着た人たちが、市街地の2.5キロの道のりを駆け巡るイベントが行われ、参加者1人当たり12ユーロ、日本円でおおよそ1500円の参加費が、貧しい家庭の子どもなどを支援する慈善団体に寄付されるということです。



ギリシャで行われたチャリティーイベント



イギリス ロンドンでのチャリティーイベント

クリスマスが近づいてきました。今年のプレゼントは何にしようかな。どんなごちそうが出てくるのかわくわくしながら楽しみにしていることでしょう。しかし、世界にはプレゼントはおろか満足にご飯を食べられない人たちが、8億4千万人もいます。(農林水産省より) そんな貧しい国や病気の子供たちのため毎年行われているのがサンタクロースのチャリティーです。

チャリティーと聞くととにかく、大変そうだったり少し悲しい気持ちになったりするイメージがある人もいるかもしれません。しかし、同情して悲しい気持ちになるだけがチャリティーではありません。みんなが笑顔になりながら相手を思いやり自分のできる小さなことから始めてみることもチャリティーです。そんな小さな一歩が世界に笑顔を広げていくと思います。サンタクロースのように世界に笑顔を届けてみませんか。きっとみんなも笑顔になれると思います。(四本)